

カラスの威嚇行動

- ①高い所から様子をうかがい、人が巣に近づくと鳴きながら旋回する
- ②「ガーッ、ガーッ」と少し濁った声で鳴く
- ③木の枝や電線を激しくつついたり、小枝を落としたりする
- ④背後から頭の付近をかすめて飛び、時には後頭部を蹴る



カラスの繁殖期は4月〜7月で、この期間中、カラスは巢の近くを通った人を威嚇することがあります（左の囲みを見てください）。

カラスの繁殖期です

暖かくなるにつれて動物たちは行動が活発になり、時として人間に危害を加えることがあります。ここでは、特に相談の多いカラスとクマについて注意点をお知らせします。



クマが活動を始めます

庭木等の枝切りを行い、巣を作りやすい三つまたの枝を作らないようにしましょう。また、ごみに群がるカラスを減らすため、一人一人がごみの減量と適正なごみ出しマナーを守ることも重要です。



山の雪解けが進み、山菜採りや登山などで野山に入る機会が増える季節です。同時にクマの行動も活発になることから、クマによる事故や遭遇を防ぐため、次のことに注意しましょう。

例年、「巣を撤去してほしい」という相談が多く寄せられますが、私有地内に作られた巣の撤去はその土地の所有者が行うことになっています。産卵前の巣の撤去に許可は必要ありませんが、産卵後の巣の撤去やヒナの捕獲には有害鳥獣の捕獲許可が必要になりますので、ご注意ください。

- 山に入る前に地元の人や市役所に問い合わせるなど出沒情報を確認しましょう
- 単独の入山は避け、鈴やラジオなどの音の出るものを携帯したり、しゃべりながら歩いたりして、常時音を出すことを心掛けましょう
- 食べ物を持って行ったときは、食べ残しやごみはきちんと持ち帰りましょう
- クマは夜間に行動が活発になります。夜はもちろん、

- 朝夕や雨降りなど薄暗いときには行動しないようにしましょう
- クマのフンや足跡などの痕跡を見つけたときははすぐに引き返しましょう。その際は警察へ110番するなど関係機関への通報をお願いします
- もしクマに遭遇したときは、次のことに気を付けて冷静に対処しましょう。
- クマを刺激しないように、落ち着いて静かに立ち去りましょう
- 大声、走って逃げる、石を投げるといった行為は絶対にしてはいけません
- 子グマの近くには必ず母グマがいますので、不用意に近づいてはいけません

次期「小樽市都市計画マスタープラン」を策定します

都市計画マスタープランとは、まちづくりの将来ビジョンや地区別の市街地像を示すとともに、諸施設の整備方針、計画を総合的に定め、都市計画の方針として、市民参加のもと策定する計画です。

策定に当たり、市民の皆さんからのご意見を頂きながら、策定を進めていきたいと考えています。

アンケートにご協力を

18歳以上の方から無作為に抽出した3000人にアンケートを郵送しています。ご協力をお願いします。

小樽市都市計画マスタープラン策定委員会委員を募集

▶対象 市内に住む18歳以上の方で、他の審議会等の委員になっていない方・2人 ▶任期 7月〜32年3月予定 ▶申し込み 応募用紙に応募の動機や小論文（400字程度）など必要事項を記入し、5月31日（木）まで（消印有効）に直接または郵送で都市計画課（〒047-8660・花園2-12-1）へ ※応募用紙は都市計画課または駅前・銭函・塩谷の各サービスセンターで配布のほか、ホームページからも入手できます。

☎詳細 都市計画課 ☎4111内線332、☎3963